

第7回「農水産業支援技術展」沖縄

12月6日（火）～12月7日（水）

第一次産業防災支援セミナー

沖縄県における農作業事故の概要と圃場機械の特性から起こりえる農作業事故と安全作業について

● 概要

12月6日(火) 13:30～14:10

国立大学法人 琉球大学

農学部 准教授

光岡 宗司 氏

● 略歴

2006年3月 九州大学大学院博士課程修了 博士（農学）

2006年6月 九州大学大学院農学研究院助手に採用、

助教を経て、

2020年10月より琉球大学農学部准教授

● 内容

日本では農業作業に関連した死亡事故が年間約300件発生している。近年は関係各所の安全対策により、発生件数自体は減少傾向にあるものの、就業人口10万人当たりの発生率は他産業と比較すると極めて高く、その低減化は喫緊の課題となっている。農業中の死亡事故のうち、約6～7割が農業機械に関連した作業中に発生している。本講演では日本および沖縄における農作業事故の現状について概説したのち、農業機械の特性から特に危険度の高い事故要因について説明し、安全作業への提言を行う。

